

クリニカルサイエンス

— 原理と実践 —

本邦では、旧陸軍による人体実験をはじめ、非人道的な臨床研究が繰り返された歴史がある。そうした事実に対する反省も総括もないままに、わが国はただ国際的な合意に基づいて現行のGCPを受け入れた。しかしながら、その適用は薬事承認や適応拡大を目的とする治験に限定され、アカデミアで行われるそれ以外の研究は野放しにされてきた経緯がある。とりわけ、データの信頼性確保はあらゆる科学の基盤であり、それが無い限り、臨床試験は「科学」にはなり得ない。一方で、臨床試験はあくまで被験者の善意によって成り立つ人類の事業であり、従って、その成果は疾病の診断・治療・予防に最大限反映されねばならない。本セミナーでは、ベーシックサイエンスとの違いに照らしてクリニカルサイエンスの考え方を深耕し、研究の実施に必要な要件と研究の枠組みについて概説する。

2016年

4月25日(月)

18:00~

場所：神緑会館 多目的ホール

講師：臨床研究推進センター

センター長／特命教授 永井 洋士

事前申し込みは不要です。どなたでもご参加頂けます。
セミナーに関して不明な点がございましたら、お問い合わせ下さい。
(内線：5400)